

やぶを再び湿原へ！

ポイント

霧ヶ谷湿原は今、
消失の危機にあります

霧ヶ谷湿原は今

霧ヶ谷湿原は、八幡地区に点在する湿原の一つで、他の湿原を含めて八幡湿原と呼ばれています。湿原には、湿潤な環境の中で生活するたくさんの生き物がすんでいます。こうした湿原は、地形の起伏が激しい日本には面積が少なく、貴重な環境となっています。

霧ヶ谷湿原もかつては湿地植物や小動物がたくさんすんでいましたが、昭和40年代以降に行われた牧場化事業によって急速に乾燥化が進み、現在はノイバラや背の低い樹木のやぶに変わってきています。たくさんの生き物のすみかとなっているこの湿原を再生するため、自然再生事業が始まりました。



牧草地時代の霧ヶ谷湿原

かつては。。。

湿原

牧場化

乾燥化が進んだ

牧草地

牧場閉鎖

樹木は伸び放題

やぶ

今の霧ヶ谷湿原

湿原へ自然再生！



湿原を牧草地にするため、水路が掘られ、道路が整備されました。

きりがたにしげん

霧ヶ谷湿原という愛称は地元の皆さんからの公募によって決定しました！

事業対象地となっているこの湿原には、実は決まった名前がついていませんでした。そこで、地元の八幡地区の皆さんから愛称を募集し、75通の中から決定しました。

目指す湿原とは？

現在のノイバラやハルガヤ、カンボクなどが繁茂するやぶ状の植生



以前あった湿原植生に再生します。

ヨシやオタカラコウ、マアザミ、ハンノキなどを中心とした湿地植生に転換



(尾崎谷湿原)



カスミサンショウウオ



ゲンゴロウ



ヒロシマサナエ幼虫

自然再生により

などといった湿原をすみかとする生き物が多く見られるようになります。